



Matsuyama
Business
College

松山デザイナー専門学校
Webクリエイター学科

令和5年度 シラバス

〔1年〕

令和5(2023)年度入学生 Webクリエイター学科 Webクリエイターコース カリキュラム

必修/ 選択		科目名	種別	担当者	1年		
					前期	後期	単位
必修		デザイン概論	講義	梅本 高橋	30		2
		トレンド分析技法	講義	永田	30		2
		グラフィック実習Ⅰ	実習	木下	60		2
		Webデザイン構築	講義	永田	30		2
		WebプログラミングⅠ	実習	池住	120		4
		情報リテラシー	講義	高橋 安藤	30	30	4
		ビジネスアプリケーション基礎	実習	四田	30		1
		Webサイト制作実習Ⅰ	実習	池住	120		4
		プレゼンテーション	講義	高橋		60	4
		Webワード分析	講義	永田		30	2
		Webサイト設計	講義	大野		30	2
		グラフィック実習Ⅱ	実習	池住		60	2
		WebプログラミングⅡ	実習	梶田		120	4
		Webサイト制作実習Ⅱ	実習	池住		120	4
					450	450	39
必修科目 合計					900		39
年間合計時間/単位数					900		39

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	デザイン概論	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	梅本 卓弥 高橋 良昌	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	Webデザインの規格、発想からデザインの具現化、伝達にいたるまでに必要な基礎的項目を学習する。これから始まる製作についてのスケジュールの説明を行い、「まず作る」ことから初めることを理解する。				
学習到達 目標	Webクリエイターとして、どのような知識や技術が必要なのかを理解させる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ガイダンス・Web人材の展望	授業科目のテーマと目的の解説。Web人材の展望について。			
3～4	サイト検索と解説	学生が興味のあるサイトを探して個人発表後、GWと解説を行う。			
5～7	はじめてのWebサイト	サイトの種類、目的、施策について学習する。サイト開発の流れや、サイト改善、サーバー構築とドメインについて学習する。			
8～9	Webサイトの準備について	グループで制作する場合の体制と役割について学習する。RFPの書き方、各種契約契約書、著作権、知的財産解説とコミュニケーションルールについて学習する。			
10～11	Webサイトの目的を考える	製作サイトの目的の整理やゴールの決定。ターゲット分析とペルソナ作成について学習する。			
12～13	Webサイトの構造を考える	サイトの構造検討、各種設計(コンテンツ、ナビゲーション)、詳細サイトマップ。ワイヤーフレームについて学習する。			
14～15	修了テスト	修了テスト実施と解説。			
使用テキスト 教材・教具	オリジナルテキスト、 いちばんよくわかるWebデザインの基本きちんと入門:伊藤 庄平:SBクリエイティブ				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、発表20%、修了テスト60%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	トレンド分析技法	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習する。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学ぶ。				
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる。				
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ディレクターとして企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わずニーズ・予算に応じたサイト制作の提案と設計・進行管理。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webサイトの歴史	Webサイトのデザインや役割における変化の歴史			
2	Webサイトの種類	サイトの種類とそれぞれの役割			小テスト
3	業種ごとのトレンド遍歴	業界や業種ごとのWebにおけるトレンドの変化			小テスト
4	参考サイトの探し方	ギャラリーサイトや検索エンジンを用いた参考サイトの探し方			
5	デザイントレンドの探り方	デザインにおけるトレンドの探り方			
6					
7	第1回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
8					
9	技術的トレンドの探り方	Webにおける技術的なトレンドの探り方			小テスト
10	既存サイトの改善分析	対象となるサイトの問題点の洗い出し方と改善案			小テスト
11	第2回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
12					
13	改善事例の考察	リニューアル後の改善事例の考察			
14	第3回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
15					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、レポート発表内容60%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	グラフィック実習 I	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木下 裕子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと目的	グラフィックデザインの基礎知識とAdobe PhotoshopとIllustratorを使った写真や画像の編集方法について理解する。				
学習到達 目標	グラフィックデザインの基礎、画像素材の作成や修正の技術、画像編集に必要な基礎知識を習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 Adobe製品群を使用し、各種イベント用の動画を制作。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	授業概要説明	授業内容の説明、PhotoshopとIllustratorの基礎			
3～6	Illustrator	図形を描く			
7	Illustrator	オブジェクトの変形・整列・パスファインダー			
8	復習テスト				
9	Illustrator	クリッピングパス、リピート、グリッド、ブレンド			
10～11	Illustrator	パターン制作			
12～13	Illustrator	線と文字(フォントとは、アウトライン化と編集)			
14	復習テスト				
15～16	Illustrator課題制作	制作(ロゴ、バナー)			
17～18	Photoshop色調加工	画面復習、画像取り込み、色調補正、色設定とペイント操作			
19～20	Photoshop画像合成	画像の切り抜き(選択範囲の作成・マスク編集)			
21	復習テスト				
22	Photoshopテキスト加工	文字、シェイプ			
23～24	Photoshop画像修正	画像変形、トリミング、カンバスサイズ、レタッチ			
25	Photoshopフィルター	フィルター、加工			
26	復習テスト				
27～28	ソフトウェア連携	IllustratorとPhotoshopの互換性と相互利用			
29～30	課題制作				
使用テキスト 教材・教具	世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書 [改訂3版]:ピクセルハウス:技術評論社 ISBN:9784297118907				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	理解度テスト30%、提出課題70%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	Webデザイン構築			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	コーディング作業に入る前のWebサイトのデザイン決定までの工程について理解する。サイトの目的と内容を理解し、UI/UXに考慮したレイアウトを考える。						
学習到達 目標	サイトの目的と内容について理解した上で、わかりやすさ、使いやすさに配慮したレイアウトを考え、デザインカンプを作成する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のデザイン構築経験。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Web概論	Webサイトの基礎的な知識とWeb制作の流れを掴む					
2	Webデザインとは	グラフィックデザインとWebデザインの考え方の違い					小テスト
3	Webデザイナーの役割	Webデザイナーの役割(フロントエンドエンジニアとの違い)					小テスト
4	使用ソフトの紹介	Webデザインで使用されるソフトとその特徴と違い					
5	配色について	Webデザインにおける配色について					小テスト
6	素材の活用方法、Web フォントについて	アイコンや画像素材の活用方法とWebでよく使用されるフォントとその理由					
7	ヒアリングシートについて	ヒアリングシートを元にした構成内容のまとめ方					課題提出
8	ワイヤーフレームについ て	ワイヤーフレームの役割と重要性					小テスト
9	ニーズを意識したデザイ ン	クライアントニーズとユーザーニーズの違い					小テスト
10	コンテンツ幅の考え方と モバイルファーストについ	コンテンツ幅を意識したデザインの重要性を知り、モバイルファーストを意識したデザインの考察					小テスト
11	デザイン演習		デザインソフトの環境の作り方。ゼロベースからのレイアウトの作り方。 これまでの授業内容を踏まえた考え方でのページデザイン演習。				
12							
13							
14							
15	期末テスト	前期総まとめの筆記テスト					期末テスト
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト10%、提出課題10%、演習評価40%、期末テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Webプログラミング I	時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと目的	HTMLとCSSの基礎知識を習得し、基本的なレイアウトのWebサイト制作が可能なレベルのコーディングスキルを習得する。併せて、Basicスキルを保证するためWebクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパートの資格を取得する。				
学習到達 目標	基本的な構造のWebページを作成するコーディング技術の習得と「Webクリエイター能力認定試験HTML5」の資格取得。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	概要説明とHTML基礎、CSS基礎	授業内容、到達目標について、Webページ作成の基礎知識、HTMLの役割とcssの役割、HTMLの基本構造と主要なタグについて。			
5～8	環境設定とHTML基礎	VisualStudioCodeのインストール。ページ内の汎用パーツの作成(ナビゲーション、図表入りテキスト、テーブル、フォーム)。			
9～12	CSS基礎	書式とルールについて、セレクトについて 装飾プロパティとレイアウトプロパティについて。			
13～14	Webページの構成とディレクトリ構造	レスポンシブ対応について、スクリプトやwebフォント、cssファイル等の読み込みについて学習する。セレクトの指定方法について理解する。			
15～18	マークアップ演習	見本を参考にテキストをマークアップし、cssで装飾する。			
19～24	スタンダード模擬問題	スタンダード模擬問題を制限時間内に解く。修正、解説。			
25～36	エキスパート模擬問題	模擬問題を制限時間内で解く。修正、解説。			
37～38	スタンダード模擬問題	「Webクリエイター能力認定試験HTML5」の認定試験を実施する。			
39～46	Webページレイアウト	ページ内のパーツをブロックに分けてレイアウトする手法について練習する。			
47～56	レスポンシブデザイン	レスポンシブ対応について、IDやクラスの指定について練習する。			
57～58	装飾について	スクリプトやwebフォント、cssファイル等の読み込みについて学習する。			
59～60	理解度テスト	見本を参考にして制限時間内にページを作成する。			
使用テキスト 教材・教具	初心者からちゃんとしたプロになる HTML+CSS標準入門(モバイルファースト、レスポンシブ、Flexbox):おのれいこ他:エムディエヌコーポレーション HTML/CSSブロックコーディング デザインをすらすら再現できる:笠井枝理依:翔泳社				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	授業で作成する課題の完成度および小テストを60%、理解度テストを20%、Webクリエイター認定試験の試験結果(エキスパート合格20点)20%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	情報リテラシー	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	高橋 良昌 安藤 保	時間割	時間割参照	開講期	前後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	コンピュータについての基礎知識を学習する。学生が授業で使用するAppleノートパソコンの設定、OSの機能解説や使用方法、接続可能な周辺機器、ネットワークや使用するソフトウェアについて。企業活動、市民生活でも情報セキュリティは重要な課題となっている。社会人として必要な情報セキュリティの概要を学習する。				
学習到達 目標	Apple/パソコンの環境の設定。授業で使用するソフトウェアのインストールと設定。OSの機能理解。社会人として守るべきセキュリティや今ブライズ(法令遵守)の知識を持つこと。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 情報セキュリティ監査技術者として(コンサル、社員教育、監査・対策)などの業務。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説。パソコン、周辺機器初期作業。			
3～4	アプリケーション	マイクロソフト365、Adobe、他ソフトウェアのインストール作業。			
5～6	周辺機器設定	プリンターや周辺機器インストール、設定作業。			
7～10	OSの機能①	オペレーションシステム(OS)についての概要説明。			
11～12	OSの機能②	デスクトップとFinderについて。			
13～14	OSの機能③	フォルダやファイル操作と外部ストレージの使用について。			
15	前期末テスト	前期末テスト実施と解説。			
16	第1章 P.14～P.27	攻撃の目的、人的脅威、技術的脅威、物理的脅威、内部不正から誰から何を守るのか、セキュリティの基本的考え方。			
17	第1章 P.28～P.39	適切なアクセス権やパスワードの安全性を高め、不正なログインから守る認証技術など。			
18	第2章 P.42～P.53	盗聴、改ざん、なりすまし、不正アクセスなどのネットワークにおける攻撃手口。			
19	第2章 P.56～P.71	ネットワークにおける各種攻撃手口への対策方法について。			
20	第3章 P.72～P.83	ウィルスの種類とその対策方法やフィッシング、メールでの詐欺等の手口と対策方法について。			
21	第3章 P.84～P.93	標的型攻撃、身代金要求マルウェアなどの手口と対策について。			
22	第4章 P.96～P.109	ソフトウェアの欠陥を狙った攻撃への対応と対策。			
23	第4章 P.110～P.123	脆弱性診断、セキュア・プログラミング、脆弱性情報の入手と共有について。			
24	第5章 P.126～P.139	認証、改ざん対策での暗号やデジタル署名などのしくみ。			
25	第5章 P.140～P.1153	Webサイト、メールの安全性、コード署名などのしくみや、より安全性の高い暗号方式などについて。			
26	第6章 P.156～P.167	組織のセキュリティポリシーやPDCAによる改善活動、インシデントの初期対応などについて。			
27	第6章 P.168～P.179	考えられるリスクへの対応方法、ログ管理・監視、証拠保全など適切なリスクマネジメントについて。			
28	第6章 P.180～P.189	組織として情報セキュリティを守り、事業継続性も考慮した対策について。			
29	第7章 P.192～P.205	個人情報の取扱ルール、不正アクセス禁止法などの法律とルールについて。			
30	第7章 P.206～P.217 後期末テスト	コンピュータ犯罪、著作権、プロバイダー責任制限法などの法的ルール、国が規定するセキュリティ戦略と、関連資格について。			
使用テキスト 教材・教具	macOS Ventura パーフェクトマニュアル：井村克也：ソーテック社 図解まるわかり セキュリティのしくみ：増井 敏克：翔泳社				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	前期：小テスト20%、発表20%、前期末テスト60%で評価する。 後期：小テスト50%、後期末テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ビジネスアプリケーション 基礎			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習する。						
学習到達 目標	Microsoft Word、Excel、PowerPointの操作スキルを習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	Wordで基本的な文書を作成する					
2	Word ②	画像や図形を活用した文書を作成する					
3	Word ③	表を活用した文書を作成する					
4	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
5	PowerPoint ①	PowerPointで簡単なプレゼンテーションを作成する					
6	PowerPoint ②	図形や画像を挿入し編集する SmartArtやグラフを活用する					
7	PowerPoint ③	スライドショーを実行する 配布資料を作成する					
8	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
9	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
10	Excel ②	表の体裁を整える 基本の関数を使う					
11	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
12	Excel ④	グラフを作成する					
13	Excel ⑤	データベース機能を利用する					
14	Excel ⑥	Excelの便利な機能を活用する					
15	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
使用テキスト 教材・教具	今すぐ使えるかんたんOffice for Mac[Office 2021/Microsoft 365 両対応]:AYURA:技術評論社 ISBN:9784297127916						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Webサイト制作実習 I			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	Webページの仕組みを理解し、実践的なWebサイト制作が可能なレベルのHTMLとCSSの知識を習得する。						
学習到達 目標	基本的な構造のwebページの作成技術を習得し、ランディングページを1つ以上作成する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業概要説明		授業内容、到達目標についての説明、webサイト製作の製作工程の把握。				
2～4	企画、設計、デザイン		製作に入る前に必要な作業について確認する。				
5～10	サイト模写①		サンプルサイトのコーディング解説を見ながらシングルページを作成し、一般的な構造のwebページのコーディングの流れを把握する。				
11～12	サーバーアップロード		サイト公開のために必要な知識と環境設定を行う。ftpソフトを利用し、作成した模写サイトをローカルサーバー(テストサーバー)にアップロードする。				
13～24	サイト模写②		サンプルサイトの完成図を参考にwebページを作成する。				
25～34	サイト作成		オリジナルのコンテンツ内容のページをサイト模写①又は②の構造を利用して作成する。				
35～36	中間発表		各自が作成したWebページについて発表する。				
37～44	シングルページ作成①		内容を決定し、企画書を作成。情報設計後デザインカンプを作成する。				
45～56	シングルページ作成②		素材の準備しコーディングする。完成後は各自の公開サーバー領域にデータをアップロードし、動作確認する。				
57～58	作品発表準備		発表用資料の作成と発表練習。				
59～60	作品発表		各自が作成したwebサイト等の作品を発表する。				
使用テキスト 教材・教具	HTML&CSSとWebデザインが1冊でちゃんと身につく本[増補改訂版]: 服部雄樹: 技術評論社 デザイン入門教室[特別講義] 確かな力を身に付けられる ～学び、考え、作る授業～: 坂本 伸二: SBクリエイティブ						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	授業で作成したwebページのコンテンツ内容を25%、デザインを25%、コーディングの完成度を25%、進捗管理と発表内容を25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	プレゼンテーション	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	高橋 良昌	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと目的	聞き手にわかりやすく伝え、発表を通じて相手を説得し、納得させ、購買行動など何らかの行動を起こさせるプレゼンテーションを学習する。企画書や提案書を作成するスキルを学習する。				
学習到達 目標	プレゼンテーションに関する知識を習得し、簡単な企画書や提案書が書けるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの定義「自らの主張を、受け手に理解してもらい、納得・共感を得ることによって、期待する行動を起こしてもらうこと」を理解する			
3～6	内容設計	プレゼンテーション基本構成を理解し、設計する方法を学習する ビブリオバトル			
7～10	資料のデザイン①	設計した内容を資料に落とし込む方法を学習する			
11～14	資料のデザイン②	相手に伝わるデザインにする方法を学習する			
15～18	伝え方	資料を用いたプレゼンテーション技法を学習する			
19～22	企画書のまとめ方・書き方	企画書に説得力をもたせ、相手の心を動かす企画書の作り方を学ぶ			
23～29	プレゼンテーション	授業で得た知識の範囲で個別にテーマを決めてプレゼンテーションを行い、学習の成果を自己評価および他者評価により確認する			
30	期末試験	学習した範囲を対象に期末試験を行う			
使用テキスト 教材・教具	オリジナルテキスト				
参考図書 参考文献	いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 人気講師が教える「人の心をつかむプレゼン」のすべて: 高橋恵一郎: インプレス				
成績評価の 方法・基準	期末試験60%、小テスト20%、課題20%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	Webワード分析			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	ネット上に公開されているデータの収集方法や、キーワード分析、アクセス解析などデータを分析する技術を学習する。またその分析結果から、ターゲット層をWebサイトに誘導するために効果的なキーワードを選定したり、検索エンジンの検索結果上位に表示させるための記事の書き方などを学習する。						
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、競合や市場の流れを分析するスキルとGoogleのWeb解析ツールの基礎的な活用方法を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のサイト構築実績。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Webワード分析とは	Webにおけるワード分析とは					
2	作業環境構築	各自のGoogleアカウントを用いてアナリティクス、サーチコンソールの開設と共有作業を行う					
3	検索エンジンとは	検索エンジンの種類と違いと特徴					小テスト
4	SEOとPDCAの重要性	SEOとPDCAの相関関係について					
5	METAタグの重要性	titleやdiscriptionの設定で得られる効果					小テスト
6	「検索フレーズ」と「キーワード」	「検索フレーズ」と「キーワード」の違い					
7	リニューアル時間問題点のデータ収集	データツールを用いた分析で問題点の解決につながるサイトキーワードの導き出し方					小テスト
8	実際に改善してみよう	デモサイトを用いて実際にキーワードやサイト内フレーズを変更する一連の流れを説明しながら進める					
9	Web解析ツールを活用	Google Web解析ツールを活用した改善点の探し方					小テスト
10	Googleトレンド分析	Googleトレンドを用いたワードの分析方法					
11	レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表					レポート
12	Googleアナリティクス分析	デモサイトを用いてGoogleアナリティクスの見方・活用方法を知る					
13	Googleサーチコンソール分析	デモサイトを用いてGoogleサーチコンソールの見方・活用方法を知る					
14	コンテンツマーケティングとは	コンテンツマーケティングを用いたターゲットワードでの集客方法と事例紹介					小テスト
15	効果測定考察会	7でおこなった施策で得られた変化を確認しながら考察する					期末テスト
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、レポート発表内容40%、期末テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Webサイト設計			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 淳			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	サイト設計に必要なフェーズやドキュメントの作成方法について、概要設計、フロー図、ワイヤーフレームの作成などについて学習する。						
学習到達 目標	Webサイトに関する設計資料、基礎知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 クライアントとのディレクション業務、ワイヤーフレーム作成、タスク管理、セールスライティング、SEOライティング、コピーライティング、SEO対策業務					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説 ※チャプター1(1～3)					
2	ディレクションに求められるもの	※チャプター1(4～7)サイトパターン					
3	制作～ミッション～ゴールの確認	※チャプター1(10～13)法令、プライバシーポリシーについて					
4	企画フェーズ	※チャプター2(1～4)ヒアリングシートの内容理解					
5	UXの考え方	※チャプター2(5～8)ペルソナの作成方法や考え方					
6	要件定義書の考え方	※チャプター2(9～11)要件定義書への落とし込みについて					
7	設計フェーズ	※チャプター3(1～6)ワイヤーフレームについて					
8	ライティングについて	※チャプター3(7・10)コピーライティングについて					
9	SEO設計	※チャプター3(12～14)SEO対策における基本的な設計					
10	開発環境について	※チャプター3(15～17)ユーザビリティについて					
11	制作の進行管理について	※チャプター4(1～6)コミュニケーションツールの紹介					
12	WEBサイト公開の注意点	※チャプター4(7・8)公開前の最終確認項目について					
13～14	運用・改善について	※チャプター5(1～9)PDCAや運用ルールについて、試験対策					
15	まとめ	修了試験の実施					
使用テキスト 教材・教具	Webディレクションの新・標準ルール: 栄前田勝太郎 岸正也: エムディエヌコーポレーション ISBN: 9784844369783						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成20%、修了試験50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	グラフィック実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	「Adobe Photoshopクリエイター認定試験(スタンダード)」と「Illustratorクリエイター認定試験(スタンダード)」の資格取得を目指す。また動画編集の基本操作と基礎知識について理解する。						
学習到達 目標	試験対策を通じて画像及び動画編集に必要なグラフィックツールの使い方や知識を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業概要と復習		授業科目の目的と概要説明、前期グラフィック実習Ⅰの復習と演習				
3～4	Photoshop		練習問題 & 解説				
5～6	Photoshop		模擬問題1 & 解説				
7～8	Photoshop		模擬問題2 & 解説				
9～10	Photoshop		模擬問題3 & 解説				
11～12	Photoshop		模擬問題4 & 解説				
13～14	Photoshop		Photoshop試験				
15～16	Premire		Premireの概要説明、基本操作と簡単な編集作業				
17～18	Illustrator		練習問題 & 解説				
19～20	Illustrator		模擬問題1 & 解説				
21～22	Illustrator		模擬問題2 & 解説				
23～24	Illustrator		模擬問題3 & 解説				
25～26	Illustrator		模擬問題4 & 解説				
27～28	Illustrator		Illustrator試験				
29～30	AfterEffect		AfterEffectsの概要説明、基本操作と簡単な編集作業				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テストおよび提出課題の完成度を70%、Photoshopクリエイター認定試験の試験結果15%、Illustrator®クリエイター能力認定試験結果15%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	WebプログラミングⅡ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	梶田 一貴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	指定された仕様に従ってのHTML/CSSとjQueryを使ったWebサイトの制作。WebプログラミングⅠで学習した内容にjQueryを加え、指定された仕様に従ってHTML/CSSベースのWebサイト制作をブロック分解の手法を用いて行うことで応用力を身につける。						
学習到達 目標	指定された仕様に従ってのHTML/CSSとjQueryを使ったWebサイトの制作。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業概要説明とHTML/ CSSの復習		この授業の概要と到達目標についての説明。前期授業「WebプログラミングⅠ」の学習 内容であるHTML/CSSの復習。				
3～7	モックアップのブロック分 解		Webページをブロックに分解して捉えていく手法について順を追って学習する。オーソ ドックスなデザインのWebサイトを、PC版、タブレット版、スマートフォン版のそれぞれで 分解する。				
8～11	HTMLのコーディング		ブロック分解したものについてHTMLでコーディングを行う。大枠のコーディングから始 め、徐々に細部へのコーディングへ移っていく。ブロック分解をどのようにコーディング に活かすかについて学習する。				
12～17	CSSのコーディング		HTMLと同様に、大枠のコーディングから始め、徐々に細部へのコーディングへ移って いく。全体で共通しているスタイルは何か、汎用性のあるclassはどのように作るのか、 メンテナンス性・拡張性は考えられているかなどを確認しながらコーディングを行って いく。				
18～23	CSSでのレスポンス対 応		PC版、タブレット版、スマートフォン版のデザインを見比べながら、どのサイズでどう変 化しているのかに注目しながらCSSに手を加えていく。				
24～26	課題制作 (HTML/CSS)		指定された機能を取り入れたWebページをブロック分解し、それに基づいて HTML/CSSで期間内に制作する。				
27～28	jQueryの基礎		JavaScriptを簡単に扱えるように、よく使用する機能をまとめたライブラリであるjQuery の概要から仕様、利便性について学習する。				
29～36	jQueryの文法		本科目で制作するサンプル1～5で必要となるjQueryのセレクタやメソッドなどの基本 的な文法や、変数、関数、条件分岐といった基本構文について学習する。				
37～40	サンプル製作1		トグルメニュー、アラートボックス、ビューアー、タブ。				
41～45	サンプル製作2		ドロップダウンメニュー、フローティングメニュー、モーダルウィンドウ、画像のキャプショ ン表示、ツールチップ。				
46～52	サンプル製作3		ボックスの高さ合わせ、文字サイズ変更、パララックス効果、フィルタリング、テーブル セルのハイライト、アコーディオンパネル、スムーズスクロール。				
53～58	サンプル製作4		バナーのランダム表示、フォームのバリデーション、スライドショー、スクロールによる ヘッダーのリサイズ、ブラウザ上部に固定されるヘッダー、メニューのハイライト。				
59～62	サンプル製作5		スライドショー(横スクロール)、スライドショー(フェードイン/フェードアウト)、画像の ズーム、カウントアップ。				
63～65	課題制作 (jQuery)		指定された機能を取り入れたWebページをHTML/CSSとjQueryを使って期間内に制作 する。				
66～75	期末試験		架空のコーポレートサイトについて、指定された機能を取り入れた実践レベルのWeb ページをHTML/CSSとjQueryを用いて期間内に制作する。				
使用テキスト 教材・教具	HTML/CSSブロックコーディング デザインをすらすら再現できる: 笠井枝理依: 翔泳社 ISBN: 9784798169040 jQuery標準デザイン講座: 神田幸恵: 翔泳社 ISBN: 9784798136226						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題制作 (HTML/CSS) 30%、課題制作 (jQuery) 30%、期末試験40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Webサイト制作実習Ⅱ	時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと目的	決められたグループごとに学内イベントや学外からの依頼を受けた、より実践的なサイト製作を行う。 並行して、個人でのサイト製作も行う。				
学習到達 目標	実践的なサイト製作を通じてサイト製作全体の流れを理解し、製作技術を向上させる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	授業概要説明	授業内容、到達目標についての説明			
3～16	企画、設計①	個人作成サイトの企画、設計、進捗管理表の作成			
17～22	デザイン、製作①	個人サイトのデザイン、製作を行う			
23～34	企画、設計②	学内イベント告知サイトの企画、設計			
35～40	デザイン、製作②	概学内イベント告知サイトの制作作業を行う			
41～52	製作	個人製作を行う			
53～58	進級制作発表会準備	発表資料作成と進級制作発表会の準備作業を行う			
59～60	進級制作発表	進級製作発表を行う			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	成果物(作品)100%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					